

# 令和7年度 学校教育の努力点とその推進計画

## 1 テーマ

探究的な学習を通じた「自律して学び続ける」児童の育成

～課題の設定に重点を置いて～

## 2 テーマについての基本的な考え

本校では、令和4年度より『わかった』『できた』を実感できる算数科の授業づくりに取り組んできた。1年目は、課題を解決するに当たって最初に必要となる「問題を把握する力の向上」を目指して実践を重ねてきた。2年目は、課題を解決するための方法の一つとして「自分の考えを伝え合う活動」に重点を置き、課題に向かう意欲の向上を目指して実践を重ねてきた。3年目となる昨年度は、これまで培ってきた「問題を把握する力」と「課題に向かう意欲」を生かして、得意ではないことにも「自分から一歩踏み出すチャレンジ」を大切にして実践を重ねてきた。この3年間の実践を通して、問題場面を的確に把握しようとする姿や、お互いの考えを伝え合いながら問題を解決しようとする姿、仲間や大人の力を借りながら分からないことを解決しようとする姿が多く見られるようになってきた。これらの姿から「ゆるやかな協働性」の中で学ぶことが少しずつできてきていると考えられる。

本年度は、この「ゆるやかな協働性」の中で「自律して学び続ける」児童の育成を目指していきたい。生活科や総合的な学習の時間において、児童が夢中になって、またじっくりと、自分なりの問いを立て、自分なりの方法で、自分なりの答えにたどり着くことができるような探究的な学びを実現していくことで、やりたいことを見つけて取り組んだり、学ぶ内容を自己選択したり、振り返りながら学び続けたりする「自律して学び続ける」姿が見られるようになるのではないかと考えられる。探究的な学びの実現に向け、課題の設定に重点を置いて学習を展開していくことで「自律して学び続ける」児童を育成していきたい。

## 3 研究の方法

### (1) 実態の把握

- 児童の意識調査を年度始めと年度末に実施する。ただし、意識調査の実施が困難な場合、行動観察によって実態を把握する。

### (2) 取り組みたいこと

#### 探究課題を明確にした年間指導計画の作成

総合的な学習の時間と各教科の学習を関連させ、横断的・総合的に扱うことができるような探究課題を設定する。また、各教科（単元）との関連を明確にし、実践計画に明示する。

#### 問いを生む題材との出合わせ方の工夫

資料提示や発問を工夫したり、きっかけとなるような体験活動を計画したりして児童が主体的に取り組むことができるような題材との出合いを考える。

#### 4 家庭・地域との関連

学校努力点研究に十分な理解を得るために、授業参観や保護者会、懇談会、学年だより等を利用して、取り組みの様子を伝え、協力体制を築くようにする。

※ 学年だよりについて（前期・後期、各1回）  
学年のテーマ、手立て、授業の様子、写真を入れ、実践の様子を保護者に伝える。

#### 5 研究推進の方法

(1) 努力点研究を運営・推進していくために、推進委員会を構成する。

- ◎ 推進委員長
- 主幹
- 推進委員（専科・1年主任・5年主任）

(2) 努力点研究を実践していくために、各学年部会（低・中・高）を構成する。

- 低学年部会：1年、2年、あおぞら、専科
- 中学年部会：3年、4年
- 高学年部会：5年、6年、養護

(3) 努力点指導部会を随時開き、研究の推進や実践についての報告及び話し合いを行い、共通理解を図る。

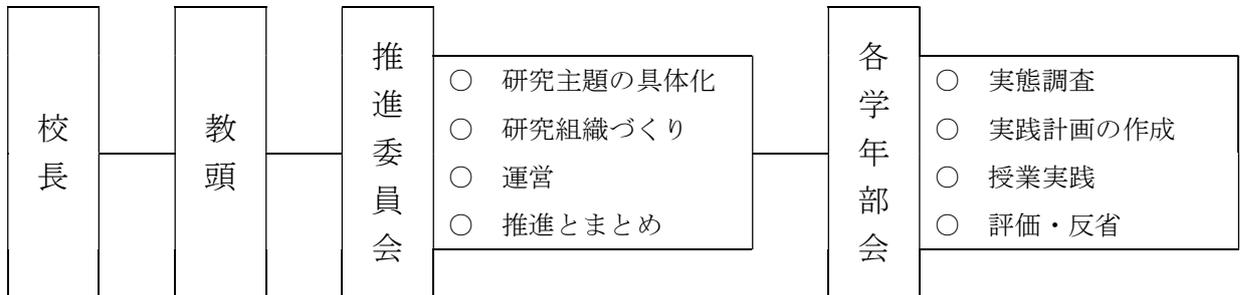
(4) 各学年で、1学期末までに前期実践、2学期末までに後期実践として、公開授業を1回ずつ実施し、授業実践における工夫について研究する。そして、3学期はまとめをする。

また、代表授業者を1名選出し、前期もしくは後期に全体公開授業を実施する。全体公開授業については、全員が事前検討会・事後検討会に参加し、よりよい指導方法について研鑽を深める。

(5) 実践研究を進めるにあたり、実践内容を継続して記録するとともに、努力点全体会で各学年の経過やまとめを報告する。

#### 6 組織図と年間計画

(1) 組織図



(2) 年間計画

	主な内容	
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ <b>推進部会</b> 【 4/3(木) 】</li> <li>○ <b>全体会</b> 【 4/7(月) 】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ テーマの検討および決定</li> <li>・ テーマについての基本的な考えの共通理解</li> <li>・ 組織づくり</li> <li>・ 代表授業者の選出</li> </ul> </li> <li>○ 実態調査の進め方についての検討および実施</li> <li>○ 実践計画（目指す児童像、手立て、実践時期等）の作成</li> </ul>	
5月 6月 7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事前検討会の開催</li> <li>○ 公開授業（前期実践）の実施</li> <li>○ 事後検討会の開催</li> <li>○ 学年だよりの作成・発行</li> <li>○ <b>中間報告会</b> 【 7/17(木) 】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前期実践の報告（児童の様子、成果、課題等）</li> </ul> </li> </ul>	<p style="text-align: center;">全体公開授業（前期） 事前検討会【6/16(月)】 全体公開授業【7/3(木)】 事後検討会【7/3(木)】</p>
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 前期実践のまとめ</li> <li>○ 実践計画の見直し</li> </ul>	
9月 10月 11月 12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事前検討会の開催</li> <li>○ 公開授業（後期実践）の実施</li> <li>○ 事後検討会の開催</li> <li>○ 学年だよりの作成・発行</li> </ul>	<p style="text-align: center;">全体公開授業（後期） 事前検討会【11/27(木)】 全体公開授業【12/4(木)】 事後検討会【12/4(木)】</p>
1月 2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 後期実践のまとめ</li> <li>○ 実態調査の実施</li> <li>○ 最終報告書の作成</li> <li>○ <b>最終報告会</b> 【 2/16(月) 】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 後期実践の報告（児童の様子、成果、課題等）</li> <li>・ 1年間を通じた実践のまとめ（成果、課題等）</li> </ul> </li> </ul>	
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ <b>推進部会</b> 【 3/21(金) 】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次年度に向けての方向性の検討</li> </ul> </li> </ul>	